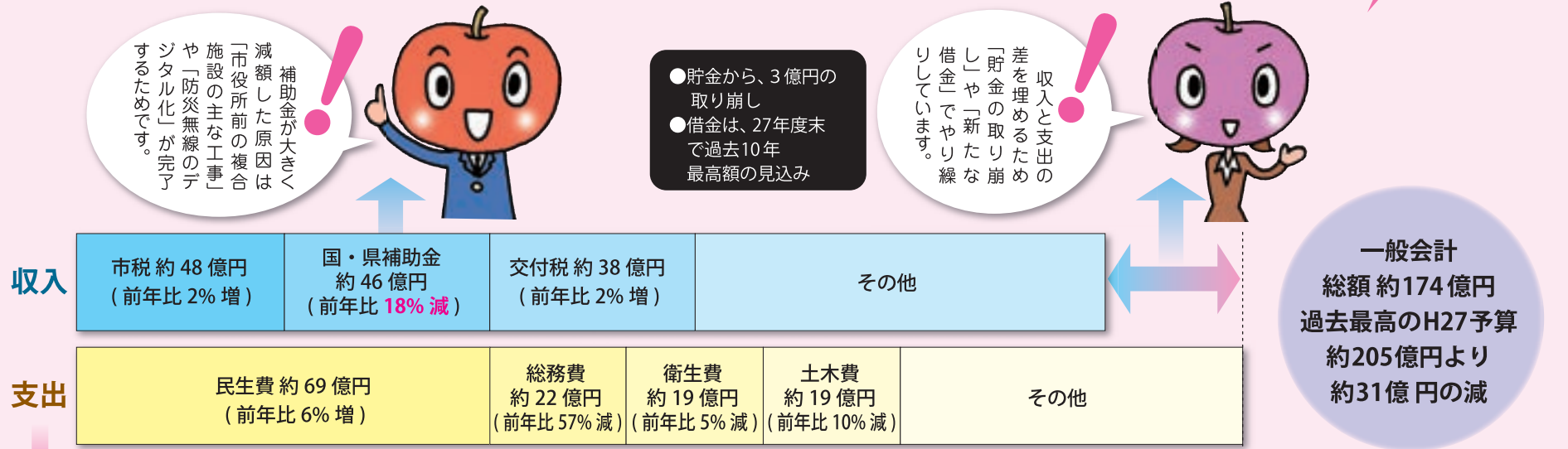


# 28年度 滝沢市の 台所事情

今回の予算審査では、国の政策に準じて「**予算が増額となった事業**」がある一方、厳しい社会経済情勢の中で「**新規着手事業の少なさ**」や「**実施予定を見送らざるを得なかった事業**」「**予算を削減せざるを得なかった事業**」が多数見受けられました。同時に、財源確保のため「**基金の取り崩し**」「**新たな借り入れ**」など、厳しい財政事情が十分に読み取れました。

議会として、予算削減に伴う住民サービスの低下を招かないような配慮を求める**附帯決議**(※)を提出しました。持続可能でより安定的な財政運営に向け、監視・提言してまいります。

財政状況を図表化してみました。



**支出を抑制するため…新規事業はほとんどゼロ**

**厳しい財政**

**【実施予定事業の見送り多数】**  
 ●滝沢中央小学校の建設関連  
 ●小学校のトイレ洋式化関連

**【内容の見直しによる減額事業多数】**

**【減額となった主なもの】**

- 補助事業
  - ・火葬場使用料: 3万円を超えた場合の補助額
  - ・下水道接続補助: 所得制限の設定
  - ・体育協会や観光協会への補助
- 公の施設の指定管理料
- 地区コミセン・お山の湯・公共体育施設・イノベーションセンター
- 特徴的な分野
- 生涯スポーツ推進等

**【増額となった主なもの】**

- 保育所運営委託
- 子ども子育て支援
- 生活困窮者自立支援
- 新規就農対策
- 婦人病検診
- 特定不妊治療助成事業

※この内容は、28年3月の当初予算審査時のものです。

(※) **附帯決議**とは、対象となる案件について、市長に対する執行の際の要望等をまとめた決議です。市長は、法的には決議に拘束されることはありませんが、議会という機関としての意思であり、要望等は執行上尊重する必要があると解されています。

今回の場合は、28年度一般会計当初予算に対する附帯決議であるため、予算を執行する段階での市民に対する丁寧な説明等を行い、十分な理解を得ることについて要望したものです。

附帯決議の内容がどれだけ尊重され、予算が執行されるかという点も念頭に置き、今後も注視していきます。

## 平成 27 年度滝沢市議会政務活動費調べ (8~3月) (単位:円)

No.	支払先氏名	8-3月分金額	精算金	返納金	執行率	支出内訳 (報告書)										
						調査研究費	研修費	要請陳情等活動費	会議費	資料作成費	資料購入費	広報費	事務費	その他	計	
1	一新会 代表 遠藤秀鬼	780,000	504,304	275,696	64.65%		493,420				10,884					504,304
2	滝政会 代表 角掛邦彦	360,000	310,944	49,056	86.37%		304,356				6,588					310,944
3	公明党 代表 相原孝彦	240,000	240,000	0	100.00%		187,026				52,218			756		240,000
4	新志会 代表 山谷仁	240,000	240,000	0	100.00%		207,566				23,010		3,884	5,540		240,000
5	日本共産党 代表 桜井博義	240,000	0	240,000	0.00%											0
6	齋藤明	120,000	89,795	30,205	74.83%		84,455				4,800			540		89,795
7	武田哲	120,000	0	120,000	0.00%											0
8	日向清一	120,000	120,000	0	100.00%		120,000									120,000
9	佐藤澄子	120,000	0	120,000	0.00%											0
	計	2,340,000	1,505,043	834,957	64.32%	0	1,396,823	0	0	0	97,500	0	3,884	6,836	1,505,043	

※政務活動費の月額額は、1人当たり15,000円です。

## ⑤ 総合的審査

5ページでお知らせした各専門委員会での審査を受けて、予算決算常任委員会全体で総合的審査を行いました。

総括的審査は、市当局の「部」単位で行った専門委員会の審査とは異なり、複数の政策(部)等にまたがる広い視点での質疑を通し、市政全体の課題等を意識して予算を審査するものです。

質疑及び答弁の内容の一部をご紹介します。

**問** 収納率が上がり、歳入はある程度の確保は見込めるが、複合施設交流拠点等大規模な施設の運営に一般財源を充てることによる今後の財政運営は、

**答** 当初は、基金を崩さずに編成する予定でしたが、最終的には3億円を崩す結果となりました。実質の基金は3億を切っており、非常に危機的な状況です。

ただ、大きな借り入れの返済終了が近づき、状況は多少上向きとなります。

**問** 昨年から始まった財政

**答** 当初は、基金を崩さずに編成する予定でしたが、最終的には3億円を崩す結果となりました。実質の基金は3億を切っており、非常に危機的な状況です。

ただ、大きな借り入れの返済終了が近づき、状況は多少上向きとなります。

**問** 昨年から始まった財政

**答** 当初は、基金を崩さずに編成する予定でしたが、最終的には3億円を崩す結果となりました。実質の基金は3億を切っており、非常に危機的な状況です。

ただ、大きな借り入れの返済終了が近づき、状況は多少上向きとなります。

討論とは、議題となったの案件について、採決の前に賛否の意見を表明することです。討論を行うことで、その理由が明らかになるほか、自らの考えを表明し、賛同を募る目的も含まれます。

今回、一般会計と国民健康保険特別会計の審議において討論が行われましたので、その内容を一部をご紹介します。

**【一般会計：反対】**

**桜井博義 議員**

一般会計予算に反対の立場で討論します。

まず、国の予算は地方の税収を前年度より2.4%増を見込み、地方交付税は同水準を確保しつつ、臨時財政対策債を抑制するとしています。このことから新年度予算は前年度同程度に推移するものと考え、地方財政においても余裕こそはありますが、一定の手当てはされているものと考えます。

当市の予算総額は174億5千万円、前年度予算に比べ30億7千万円、率にして15%の減少に

なっています。前年度計上の大型公共事業の減少によるものです。

しかし、投資的な分野はピークを過ぎたものの市債総額は179億9千万円に達し、公債費は12億から14億に増えること。また、開館前の複合施設の管理運営や指定管理に1億700万円、施設内の備品も含むとしていますが実質経費は更に膨れ上がると推測され、コスト削減の検証が必要です。

また、国が推し進める番号制度は多くの市民が制度のメリットが見えないことが明らかになっていくこと、費用対効果からみても無駄な事業になる恐れがあります。

このように、経常的経費が増すことにより、住民サービスにしろ寄せが広がっているものと考えます。

一方、評価する事業も多々あります。歳入はそれなりに確保されている点と、道路整備等や扶助費関係において住民の切実な願いもあることから積極的に進めることも必要不可欠です。問題は歳出の配分の仕方について住民から見るとこの予算に理解が得られないと

考え、反対討論します。

滝沢市国民健康保険特別会計予算に反対する立場から討論します。

26年度50億円、27年度58億円、28年度59億8千万円と年々財政規模が大きくなり、市民の5人に1人以上がこの保険に加入している状況です。今後ますます高齢化が進んでいく中で、この保険の重要性が高まっています。

国の27年度補正予算で、国保低所得者対策として組み入れた中で約6千万円が当市に交付され、所得に応じて2割、5割7割の減免措置に使われています。

しかし、この法定減免は最初から予算化されていくべきで、新しく交付されたために減免の措置を増やすというものは、ないはず。結局、財政調査基金に回ってしまっただけではないでしょうか。

また、28年度予算では、保険財政共同安定化事業に12億円強を拠出し、27年度比2倍以上に増えています。この事業は国保の広域化、保険料の平準

## ⑥ 討論

化、財政の安定化のための国民健康保険団体連合会の取り組みですが、地域の医療費激変時の緩和策も講じるとしています。

市は、基金を取り崩して保険料を引き下げることとは、医療費が激増したときにその緩和策を取れなくなるのでできないと断りましたが、基金への繰り入れと、保険財政共同安定化事業推進は矛盾しているのではないのでしょうか。

真に、市民のための国民健康保険、市民の健康と暮らしを守ることで、国民健康保険の再構築を求めて、反対討論とします。

8ページの議決案審議結果でもお知らせしていますが、28年度当初予算は、本会議で採決の結果、可決されました。

しかし、予算審査の過程において、見直し等を常に見極めながら、市民の声や審査の過程でなされた議論、意見などを真摯に受け止め、予算執行に当たること。

特に、火葬場使用料補助事業など市民生活に直結した事業については、市民生活に与える影響を十分に配慮し、事業の縮小等を行う場合には、市民への丁寧な説明を行うなど慎重な事業執行に努めること。

議決案の審議結果

平成28年3月22日 原案可決  
これは原本である  
議長 長内信平

## 附帯決議

【附帯決議の内容】  
28年度一般会計予算に対する附帯決議